

## ロシアのウクライナへの軍事侵攻に抗議します

2022年2月26日

北海道民主医療機関連合会

会長 小市 健一

2月24日、ロシアはウクライナに対して軍事攻撃を開始しました。多数のウクライナ人に死傷者が出ています。いのちを守り暮らしを支え、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす団体として、断固抗議し軍事侵攻の即時中止を求めます。

ロシアによる軍事侵攻は、ウクライナの主権を侵害し、国連憲章と国際法に反するものであり、世界の平和と安定の基盤となってきた国際秩序を破壊するものです。さらにロシアのプーチン大統領による核兵器大国の誇示は、核兵器による威嚇を禁止した核兵器禁止条約にも反します。

国連をはじめ欧米各国が、きびしい非難と即時攻撃停止を求めて声をあげています。日本政府は国際社会に連帯し、全世界の国民が平和的生存権を有すると宣言し、国際紛争解決の手段として戦争、武力の行使と威嚇を放棄した日本国憲法の立場から積極的な役割をはたすべきです。

私たちは、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ることを、民医連綱領に掲げています。いのちを奪い、暮らしを破壊するロシアの軍事侵攻の中止に向けて、世界各国、市民社会と共に手をつなぎ、平和をとりもどすため声をあげつづけます。

以上